

統計数理研究所 訪問レポート

2026年7月14日 場所：統計数理研究所

統数研データサイエンス・ハイスクールプログラムに参加しました。

～研究に大事なものは「何がしたいのか」である～

立川市にある統計数理研究所のデータサイエンス・ハイスクールプログラムに12名の生徒が参加しました。このプログラムはSSH指定校の高校生を対象として、課題に対する統計科学的アドバイスを頂くことができたり、統計的思考力、判断力、新たな発想力を養う場となっています。2年生は今進めている研究について、研究の方向性やデータの扱い方について質問をし、多くの学びを得ることができました。

「何がしたいのか、問いがはっきりしているか。問いに対する手法がしっかりとれているか」「誰に何を聞けばいいか考えるのも大事な研究」「モデルとリアルのギャップを意識し、段階的にその間を埋めていく」「データを取って終わりではなく、その検証をする」「データを取った時の状況もきちんと記録する」など、研究を進める上でとても大事なことを教えていただくことができました。

東京都立科学技術高等学校のみなさま

統数研データサイエンス・ハイスクール 訪問プログラム

日時：2026年7月14日(火) 14:30～16:30

会場：セミナー室2 (D304)

【プログラム】

14:30～15:50 生徒さんからの質問および相談

研究者からの回答、アドバイス

▲およそ90分間、生徒の質問に対して研究所の方からアドバイスを頂きました。



▲プログラムの後半は、地下1階にある計算機展示室を見学しました。物理乱数装置をはじめ、1980年代のパソコン、さらに2010年代のスパコンのシステムボードなどに生徒は見入っていました。

◀奥の部屋にはスーパーコンピュータが！スーパーコンピュータの説明とともに実際にアクセスする場面も見せていただきました。